

平成28年度 磐田市立竜洋中学校 学校評価書

A:十分満足 B:おおむね満足 C:もう少し努力すべき D:大いに努力が必要

重点	目標・取組	評価指標	1学期 数値%	2学期 数値%	自己 評価	考察	学校関係者評価委員から
安心安全な学校	生徒一人ひとりにとって安心して学ぶことができる人的、物的環境を整える。	「学校生活を楽しんでいる」と答える生徒90%以上	91	92	A	目標は達成できた。しかし、楽しくないと感じている生徒が10%いることも忘れないようにし、今まで以上に安心安全な学校生活を送ることができるよう個々の生徒の支援を図っていききたい。	多くの生徒が「楽しく学校生活を送っている」と感じているのはありがたいことである。また、保護者としても、安心して子どもを学校に送ることができていると感じている。教師側の熱心な取り組みの様子を感じ取ることができる。 ・別調査によると、いじめ発見のきっかけの大多数が、いじめられたと感じている本人の保護者からの訴えによるものである。10%の学校を楽しんでいると感じていない生徒に、今以上に目を向けてほしい。また、そのような点について小学校とも連携をしてほしい。
		「先生はあなたのことを理解してくれている」と答える生徒90%以上	86	87	B	目標指標に到達することはできなかった。教育相談として、各学期に日を設定しているが、日々の生活における生徒との対話、人間関係づくりをさらに推進していききたい。	
		「学校に学習や生活面での相談事や悩み事に適切に応じてくれる人がいる」と答える生徒90%以上	89	87	B	上記と同様に達成できなかった。学習面では定期テスト前の学習相談の充実を図りたい。また、生徒や保護者のアンケートを元に、個への支援を進めていききたい。	
確かな学力の育成	授業改善を常に意識し、生徒が活動しやすい授業構想を練り、生徒にとって「わかる授業」を実践する。	「授業がわかる」と答える生徒80%以上	84	84	A	多くの職員が、授業改善を意識し、確実に取り組むことができている。その結果、目標を達成することができた。しかし、個の学力差の広がりは、学年が上がるにつれて大きくなっているため、さらに授業改善を図りながら進めていききたい。	「生徒がわかる」授業や面白い授業を展開することが、生徒の意欲を高め、進んで学習しようとするにつながるのではないかと。さらに、積極的に授業改善を図ってほしい。
	学習相談日の設定や課題提出の丁寧な見届けをし、基礎基本の定着を図る。	「進んで先生に聞いたり自分で調べたりして学習している」と答える生徒75%以上	69	66	C	この目標に関する評価が一番低かった。例年のことであるが、生徒の自主性を高める工夫改善が必要になっている。	
主体的に考え、ともに学び、実行する生徒の育成	学校行事や委員会活動、部活動など、生徒が主体的に取り組むと共に、個を育て一人一人の向上につなげる。	「生徒会や学級の係活動、部活動にしっかり取り組んでいる」と答える生徒95%以上	90	89	B	目標には届かなかったが、熱心に生徒会活動、部活動に取り組んでいる姿が見受けられる。生徒会において、自主的な活動がスタートし始めているので啓蒙していききたい。	学校行事などに取り組む姿勢は、たいへん熱心であることが、当日の様子からもよくわかる。いろいろな活動を通して、授業だけでは得られないものが身につくと思うので、継続して続けてほしい。 ・部活動に休日を設けるようにしてはどうか。先生方の負担も大きいのではないかと。
		「互いにルールを守り、協力する雰囲気がある」と答える生徒90%以上	85	86	B	目標数値は下回ったが、一部の生徒に「これくらいは」という思いがでている。生徒同士で注意し合えるような厳しくも、温かい人間関係づくりを進めていききたい。	
小中一貫教育の推進	地球の様々な課題を自分ごととしてとらえ、足下から行動するとともに、周りの人々とのプラスの関わり合いを持つことで、自己存在感、自己有用感を高める。	「中学生として小学生や幼稚園児にやさしくできた」と答える生徒90%以上	93	90	A	学府大交流会(6月)を通して、小学生と接した結果が反映されていると考えられる。次年度以降も同様な活動を継続し、さらに中学生としての意識を高めさせていききたい。	本年度、地域や保護者を巻き込んだ活動がはじめて展開された。引き続き、来年度も同様に継続させ、波に乗せてもらいたい。

学校関係者評価を受けてのまとめ

- ・生徒、保護者の評価に加え、学校関係者評価からも「安心安全な学校」の経営に関しては、高い評価をいただいた。しかし、不安を抱えている生徒もいるということにしっかりと目を向け、個々の生徒の支援をしていかなければならない。
- ・保幼小中一貫教育の推進、コミュニティスクールの推進について、学府カレンダーの作成などにも取り組んできた。学校公開日の設定などを通して、今年度以上に来年度は保護者や地域を巻き込んだ活動を積極的に推進していききたい。そうすることで、学校や生徒の様子を外から見るだけでなく、生徒と直に触れ合っ活動をとにもすることで、「安心安全な学校」を作り出せると考える。
- ・今年度は、授業改善の研修を積んできた。多くの教員が意識して取り組み、その成果が表れていることが授業の様子から感じとることができた。生徒の「確かな学力」育成に向けて、さらに教員自身が向上させていくよう工夫をしていききたい。